

ライフサポート：はた

「学習会やイベント等」のご報告

(皆さんの、ご参加をお待ちしています！)

N063 : 2021. 10.

四万十市中村大橋通7丁目1-24

連合高知西地協 TEL:34-9191

発行責任者：事務局 伊達幸雄

色々な組織やクラブに参加している方も多いと思いますが、何か面白い話や、イベントの広報などがあればお知らせ下さい。皆さんからの、投稿をお待ちしています。

< 8月4日(水) 10:00~11:00 >

講演：「こうち食支援ネット」について

講師：こうち食支援ネット

理事 山崎秀一 さん



いま日本は世界第3位の経済大国といわれて

いるが、厚生労働省の統計によると2018年の相対的貧困率は15.4%（G7の中でアメリカに次ぐワースト第2位）、子どもの貧困率は13.5%（G7中ワースト1位）となっている。また一人親世帯の貧困率については48.1%で、ほぼ半分の世帯がその状態にある。

2015年の「高知県子どもの生活実態調査」によると、生活困難世帯は32.7%となっているが、今回の新型コロナウイルス感染症の拡大によって、特に女性の「実質的失業者」は90万人、完全失業者は5%にも上っているため、生活困窮者が大幅に増加している。

相対的貧困：その国の文化水準、生活水準と比較して困窮した状態。生活はできるものの経済的に苦しい状態のこと。所得で見ると、その国の等価可処分所得の中央値の半分に満たない状態のこと。

生活困難世帯：「所得135.3万円以下」「生活必需品の非所有」「支払い困難経験」のいずれかに該当。

これらの状況の改善については、憲法25条に定められているとおり、全て国家がその責任を負わなくてはならないのだが、残念ながら近年の新自由主義的な政治（裕福な者や大企業を優遇）等によって、この状況が放置されている現実がある。

第二十五条：すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。

国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。

このように、本来、行政など公的機関などが行うべき支援が不十分で、支援を必要とする方が目の前にある以上、「放置するわけにはいかない。」という思いで「こうち食支援ネット」を立ち上げるとなった。

現在、高知県には「フードバンク高知」・「県や市町村社協」「子ども食堂80か所以上」があるが、それぞれ個人の努力で運営されている場合が多く、連携した取り組みが出来ていない。

そのため、それぞれの活動を有機的に結び付けるとともに、県内外の企業や様々な団体の協力を得て、広域的で持続可能な仕組み作りを目指している。

「こうち食支援ネット」の目指すもの・お願い ⇒ 次ページにフロー図

『こうち食支援ネット』の紹介と ご支援・ご協力をお願い

私たちのめざすもの★★★★

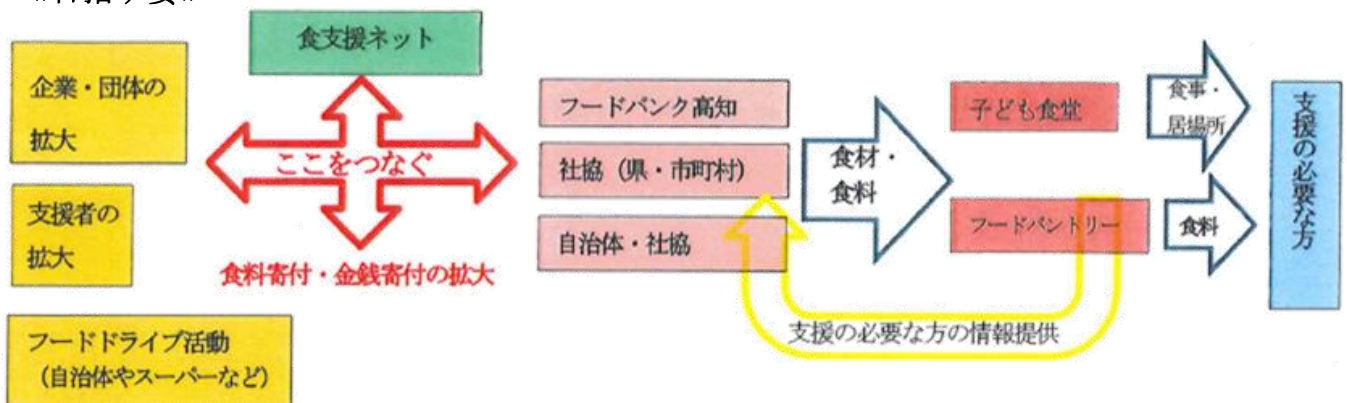
- フードバンクや子ども食堂、県・市町村の社会福祉協議会などがそれぞれに行っている食支援活動を有機的に結び付けていくとともに、より多くの方に会員（サポーター）として参加していただくことにより、生活に困窮した方々への食支援の輪を広げていくことをめざします。
- 食材提供をいただける団体、個人の拡大や地域における食支援の拠点づくりなどに取り組むことにより、食支援の拡大と充実をめざします。
- この活動を通じて、従来の支援枠組みでは把握しきれていない「支援を必要とする方」を把握し、行政や社会福祉協議会による支援につなげるなど、地域福祉の確立に貢献することをめざします。

取り組む具体的活動

様々な食にかかわる支援活動を行っている団体・個人の連携強化をはかるとともに、より多くの団体・個人の方々が活動に参加していただくことにより、生活に困窮した方への食支援の輪を広げていくことをめざしていきます。具体的には、次の事業を実施していきます。

- ① 食支援団体の連携強化と食支援の輪の拡大
- ② 食材を集める仕組みの強化
- ③ 食材情報提供システムを通じた食材の分配機能の強化
- ④ 食材を配布する仕組みの強化と地域福祉確立への貢献
- ⑤ 子ども食堂の連携強化の支援

《目指す姿》



《皆さんへのお願い》・・・下記のような取り組みへのご協力を！

- 「子ども食堂」や「フードパントリー」への企画・開催。
- 「食支援ネット」の会員。配送等へのボランティア参加。
- 「食支援ネット」を必要としている方の紹介。「食支援ネット」の宣伝など。

早く、このような取り組み（ボランティア）に頼らなくても、皆が安心して暮らせる社会になってほしいものです。

< 9月1日（水）10:00～11:00 >

講演：コロナ感染拡大により中止
○幹事会のみ実施

< 10月6日（水）10:00～11:00 >

講演：コロナ感染拡大により中止
○幹事会のみ実施



~~~~~

今や、スマートフォンを活用している者にとっては、仕事や日常生活でも手放すことが出来ない存在になってしまいました。（持ってないと不安になる。）

その一方で、大変危険で人の命を失いかねない、「運転しながら」「歩きながら」のスマホ操作や、家族の会話までメールで行うなど、社会への悪影響も指摘されています。

そうした中、幡多地区労福協会長の今倉さんから、2021年7月11日の高知新聞の「読者の広場」に下記のような投稿がありましたのでご紹介します。

## スマホの弊害

昨今のスマートフォンの普及には圧倒される。

見たいものが即座に見られ、多方面に知識も視野も広がり、この上なく便利で面白いだけについて時間がたってしまう。その魅力のためか、大人も子供もせつかく友人たちと集まり顔を合わせても、直ぐに各々がスマホの画面とにらめっこだ。



先日も、孫たちが家に来てワイワイ食事をしたまでは良かったが、二人の子供たちは直ぐにスマホを取って何やら見出し、話しかけてもなかなか乗ってはこない。

友人たちに聞くと、どこも同じだと言う。親も楽で良い面もあるだろうが、これでは家庭、世代間の意思疎通もなにもあったものではない。

時代の流れと言えばそれまでだが、これだけスマホばかりだと健康への心配も出てくる。小さな子供は泥んこ遊びが大好きなように、成長期はもっともっと自然に接し、その手足からの感触や感動を得ることが長い人生にとっても重要だと思う。

人間は身体を動かさずいたほうが楽で、身体には悪いのに「苦痛に感じない」ので注意すべきだという昔聴いた話を思い出す。



身体が楽で便利で面白いスマホだが、このままでは大人も子供も運動不足で体力はなく、真の対人関係も図れず、将来仕事を含め社会全体に支障をきたすのではないかと心配するのは私だけなのだろうか。

今 倉 傳 男

# 第6回 幡多ライフサポートセンター 家族で楽しく釣り大会



【日時】2021年11月13日(土)

【場所】宿毛湾 新港

【集合時間】8:30

【表彰式・閉会】15:00

【参加費】500円(当日集めます)

(中学生以下は無料ですが父兄同伴とします)

※豪華?賞品多数あり

(釣れなかった方にもチャンスあり!)

※釣り道具、昼食は各自で準備してください。



申し込み先：連合高知西地域協議会

TEL：0880-34-9191 FAX：0880-34-9192

E-mail：nishi-chikyo@kochi.jtuc-rengo.jp (〆切日：11月10日)

※開会式・閉会(表彰)式は宿毛湾 新港で行います。

※釣る範囲は、宿毛湾 新港近辺の安全な岸壁(磯は除く)とします。子供は必ずライフジャケットを着用してください。(持ってない方は事務局で準備します)

※事故等については、レジャー保険以上の対応はできませんので、くれぐれも事故の無いようご注意ください。



宿毛湾 新港

## 第6回 幡多ライフサポートセンター 家族で楽しく釣り大会



【日時】2021年11月13日(土)  
 【場所】宿毛湾 新港  
 【集合時間】8:30  
 【表彰式・閉会】15:00  
 【参加費】500円(当日集めます)  
 (中学生以下無料ですが父兄同伴とします)

### 「家族で楽しく釣り大会」申込書

締切り 11月10日(水)

組織名: \_\_\_\_\_ (OBの方は出身労組等、記入無くてもOK)

一人での参加もOKです。

※責任者の方、ライフジャケットが必要な方に○をご記入ください。

| 責任者 | 氏名 | 住所 | 連絡先<br>(TEL・携帯等) | 年齢 | ライフジャケット |
|-----|----|----|------------------|----|----------|
|     |    |    |                  |    |          |
|     |    |    |                  |    |          |
|     |    |    |                  |    |          |
|     |    |    |                  |    |          |
|     |    |    |                  |    |          |

<申し込み先>

連合高知西地域協議会 事務局

TEL 0880-34-9191 FAX 0880-34-9192